

経済統計 練習問題

第30回 国民経済計算(3)

2015年2月2日

問1 下の表は、2012年と2013年の日本の国内総生産(GDP)に関するものである。この表について、あとの問に答えよ。(割りきれない場合は四捨五入し、小数点以下第1位まで求めること。)

	2012年	2013年
GDP(名目)(兆円)	475	480
GDPデフレーター(平成17年=100)	91.5	91.0

1. 2012年と2013年の実質GDPを求めよ。

2. 2012年から2013年にかけての実質成長率を求めよ。

問2 3つの産業からなる国の経済の産業連関表が下の表のように示されており、表の中のA~Jの数値は不明である。このとき、Cに入る数値として最も適当なものはどれか。

		中間需要			最終需要	産出合計
		産業1	産業2	産業3		
中間投入	産業1	25	A	B	C	80
	産業2	D	E	20	35	90
	産業3	15	20	F	40	G
粗付加価値		30	30	35		
投入合計		H	I	J		

1. 15
2. 20
3. 25
4. 30
5. 35